

～10月は「ピンクリボン月間」～
10/13号は、今年で8回目となる
ピンクリボン運動応援号です

紙面中の
ピンクリボン運動
応援のマークです

私らしく、
乳がんを生きる

知ろう、胸の内

Pink Ribbon Campaign

乳がんは増えています。でもセルフチェックや検診による早期発見、適切な治療によって「治るがん」ともいえます。乳がん経験者の皆さんの胸の内にある想いを聞き、今日は自分や家族の胸のこと、考えてみませんか。

「ピンクリボン運動応援号」は毎年10月に発行を続け、今年で8回目となりました。生涯に乳がんを患う日本人女性は、現在11人に1人といわれています。しかし、早期に発見し適切な治療を行えば、良好な経過が期待できます。そんな社会背景を受け、今年はさまざまな乳がん経験者に登場していただき、気持ちや体調の変化、家族や社会との関わり、検診の大切さ、そして未来への希望など…生き方を語っていただきます。あわせて、ちいき新聞が提唱する「検診ホリデー」や基本情報なども紹介し、全ての女性、全ての人に「乳がん」について正しい知識を持ってもらうためのきっかけ作りをしていきます。

地域花子さん

病歴その他: ○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○○

コメントコメント

コメントコメント

コメントコメントコ

メントコメント

地域花子さん

病歴その他: ○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○

コメントコメント

コメントコメント

コメントコメントコ

メントコメント

地域花子さん

病歴その他: ○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○
○○○○○○○

コメントコメントコメントコメント

コメントコメントコメントコメント

1面イメージ

詳しいお話は2ページ目以降、またはチイコミで!

紙面中の  は
ピンクリボン運動
応援のマークです

ピンクリボンとは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボルマークです。ピンクリボン運動応援号では、広告内にこのマークを使用することができます。地域密着の草の根活動を、是非一緒に推進してください。皆様の温かいご支援を何卒よろしくお願いいたします。

【予定記事内容】

- ・3名の経験者インタビュー（社会・家族・仕事について）
- ・乳がん基本のキ
- ・最新情報トピックス（最新の検診、若年性乳がんなど）
- ・検診ホリデー

(ちいき新聞が提唱する、仕事や家事を休んで検診に行く日をつくるアクションのこと)

- ・乳がんとお金について（公的助成など）
- ・乳がんになった時の働き方 etc…

▼毎年大きな反響を呼ぶ経験者のインタビュー記事（画像はイメージです）



キャブションキャブションキャブションキャブションキャブション

サーフィンが乳がんと闘う勇気をくれた

RICOさんの場合

昨年の12月に乳がんが発覚し、今年1月に温存手術を行ったという〇〇〇〇さん。何よりも大切なのは「早期発見」と力を込めて話す〇〇さんに、お話を聞きました。



〇〇〇〇さん

2013年に1期の乳がん告知を受け、2014年1月に乳房温存手術を行う。現在は、ホルモン治療を行いながら、家事と仕事をこなす。乳がん体験者を対象としたイベントにも積極的に参加している。

[illegible]

